



チューダー、世界トップのトレイルランナーたちと共に新たな境地へ

トレイルランナーたちは、自らの肉体と精神的な持久力を極限まで追い込む。他者が本能的に足を止めたくないその瞬間こそ、ウルトラトレイルランナーにとっては始まりに過ぎない。150 km にも及ぶ過酷なコースを走りぬぎ、標高差 10,000 m の切り立った山の斜面にある狭いトレイルの上で、彼らは自らのなかの不屈の精神を見出すのだ。そして今、このエリートトレイルランナーのうち 4 名が、チューダーファミリーの一員となった。

100 km を走ることにさえ不可能に思えるが、標高差 10,000 m 以上、総距離 171 km を走破するとなれば、それは文字通り異次元の世界である。「普通」の人間にとっては想像を絶する領域だ。しかし、コートニー・ドーウォルター、ミャオ・ヤオ、レミ・ボネ、そしてパティスト・シャサーニュにとって、それは生まれてきた意味そのものであり、自らの目的と意義を見出す場所なのだ。独自の精神性があるからこそ、彼らは他者にはなし得ない強さと意志を見出すことができる。この 4 人の傑出したトレイルランナーがチューダーファミリーに加わったのは、彼らのマインドセットがまさに「Born To Dare (挑戦者の精神)」を体現しているからに他ならない。彼らは単なるトップランナーではなく、まぎれもなく世界最高峰のエリートアスリートなのである。

エリートアスリートが機械式時計を着用して競技に臨むことは一般的ではないが、本質はそこにはない。重要なのは、勝利を称え、フィニッシュを記録に刻み、その偉業を記念することだ。チューダーの時計は、記録を打ち立て、限界を再定義する不屈の挑戦者の精神を象徴する。その精神は、チューダーが製造するすべての時計に吹き込まれている。トレイルの上では、すべてが精神力にかかっている。そしてトレイルを離れたとき、その同じ精神が世界トップクラスのトレイルランナーたちの腕に宿るのである。

世界屈指のアスリートである 4 人のトレイルランナーは、チューダーの時計を身に着けていることでその精神を体現している。

チューダー トレイルランナーの紹介

コートニー・ドーウォルター (Courtney Dauwalter)

歴史上もっとも圧倒的なウルトラランナーのひとりであり、比類なき持久力と精神的な強靭さで称賛を集める。総合優勝を果たし周囲を驚愕させた「モアブ 240 エンデュランスラン」や、複数回優勝している「ウェスタンステイツ・エンデュランスラン」など象徴的なレースでの勝利により、世界的な名声を確立した。彼女の決定的な偉業は 2023 年に達成された。1 シーズンのうちに「ウェスタンステイツ・エンデュランスラン」、「ハードロック 100」、「ウルトラトレイル・デュ・モンブラン (UTMB)」をすべて制するという、前例のない三冠を達成したのだ。バスケットボールのシューズを履いてレースに臨み、厳格な計画よりも直感を頼りにすることで知られるドーウォルターは、エリートとしての卓越したパフォーマンスと親しみやすい人柄を兼ね備えている。極度の疲労に耐えながらもポジティブな精神状態を維持する彼女の能力は、ウルトラランニングにおける可能性を再定義し、このスポーツの世界的なアイコンとなっている。

ミャオ・ヤオ (Miao Yao / 姚妙)

中国出身の先駆者であり、世界のウルトラランニング界においてもっともダイナミックなアスリートのひと



り。2018年、わずか21歳で国際舞台に鮮烈なデビューを飾り、「UTMB-CCC」チャンピオンおよび「UTWT」年間王者に輝いたミャオは、肉体的な限界を常に再定義してきた。彼女のキャリアは、自身のコンフォートゾーンから踏み出すことで築かれている。2024年と2025年には「UTMB-OCC」を連覇し、ロードマラソンの爆発的なスピードと、山岳ウルトラトレイルの過酷な持久力の間を軽やかにクロスオーバーしてみせた。予測不可能な環境でこそ真価を発揮する彼女は、山々を試練の場として自身の限界に挑戦し続ける。過去の勝利に甘んじることなく、限界を打破し、新世代の女性アスリートたちにインスピレーションを与えるために彼女は走る。競技の枠を超えて、その規律とアジア全域でのアウトドアスポーツ文化の発展への貢献に対しても高い評価を得ている。

レミ・ボネ (Rémi Bonnet)

急勾配かつ高強度のレースで圧倒的な強さを誇る、スイス出身の山岳ランニングのスペシャリスト。「ゴールドトレイル・ワールドシリーズ」で複数の総合タイトルを獲得し、このスポーツにおける最速のクライマーの一人としての地位を確立している。また、バーティカルキロメートル競技においても複数回にわたる世界王者でもあり、その爆発的な登坂スピードは他の追随を許さない。特筆すべき勝利の中には、トレイルランニング界で最も権威あるレースのひとつである「ゼガマ=アイスコリ」での優勝が含まれる。スイスのアルプスで磨かれた彼のレーススタイルは、容赦ない登坂ペースと技術的な正確さによって特徴づけられる。主にショートフォーマットに焦点を当てているものの、ボネのエリートレースでの継続的な成功は、山岳ランニングにおける第一人者としての彼の地位と、世界的なクライミングパフォーマンスの基準であることを裏付けている。

バティスト・シャサーニュ (Baptiste Chassagne)

国際舞台での躍進によって、そのキャリアを急速に輝かせつつあるフランスの新鋭トレイルランナー。彼の存在を決定づけたのは、「ウルトラトレイル・デュ・モンブラン (UTMB)」での目覚ましい活躍であり、並みいるエリート選手たちと互角に渡り合い、このスポーツの新星としてその名を轟かせ周囲を驚かせた。さらに、UTMBでの準優勝や、2025年10月の「ディアゴナル・デ・フー」での見事な勝利は記憶に新しい。また、「UTMB ワールドシリーズ」の各レースでも好成績を収めており、距離や地形を問わない安定性と適応性を示している。滑らかなランニングスタイルと戦術的な忍耐力で知られ、レース序盤は慎重に進め、後半で順位を上げていくスタイルを得意とする。既存のスター選手と比較するとまだキャリアの初期段階にあるが、これらの活躍は、今後数年のうちにメジャータイトルを獲得する可能性を大いに示唆している。フランスの豊かなトレイルランニング文化を背景に、シャサーニュは最高レベルの有力な選手へと進化を続けている。

TUDOR IS “BORN TO DARE”

2017年、チューダーは「Born To Dare (挑戦者の精神)」のスローガンを掲げた新しいキャンペーンを開始した。これはブランドの歩みと、今日象徴するアイデンティティの両方を反映している。陸海空、ときには氷上でチューダーの腕時計を身に付け、並外れた偉業を成し遂げてきた挑戦者たちの物語そのものだ。そこには、極限の環境に耐え、挑戦し続ける人々のために腕時計をつくった創業者ハンス・ウイルスドルフの想いが宿っている。今日のチューダーを築き上げたのは、時計製造に対する妥協を許さない姿勢と、絶え間ないイノベーションである。そしてその「Born To Dare」の精神は、大相撲といった一流のパートナーシップや、自らの物語を勇敢に紡ぎ続ける含むアンバサダーたちによって、今この瞬間も体現されている。



TUDOR

ABOUT TUDOR

数々の受賞歴のあるスイス製ウォッチブランド、チューダー。洗練された美学と実証された信頼性、そして価格を超える価値を備えた機械式時計を提供し続けている。その起源は 1926 年、ロレックスの創業者ハンス・ウイリスドルフが「チューダー (The Tudor)」の名を登録したことに始まる。彼は、ロレックスの品質を継承しつつ、より手に届きやすい価格帯で先駆性を備えた腕時計を製造するために、モントル チューダー SA を設立した。その 100 年にわたる歴史を通じて、最も果敢な冒険家たちに選ばれてきたチューダーは、ブラックベイ、ペラゴス、レンジャー、チューダー ロイヤルといった象徴的なモデルをラインナップ。2015 年からは、多機能で優れた性能を備えた機械式のマニファクチュール キャリバーも展開している。

